



## 研究紹介

ホーム > 研究紹介 > 研究領域 > 援助戦略 > 開発援助レジームにおける財政支援の意義と限界

## 開発援助レジームにおける財政支援の意義と限界

## 終了プロジェクト

開発援助レジームの中で、一般財政支援は、2000年前後に導入され、急激に拡大してきました。しかし、ここ数年、OECD諸国では、一般財政支援に対して、批判的な見方も広がっています。一般財政支援については、未だに、上流から下流に至るまでの一連の流れが熟考され、その効果が十分に検証されているとはいえません。本プロジェクトでは、一般財政支援の紐がつかない (untied) という性質に着目したフライペーパー効果の検証による政策対話の影響の確認、一般財政支援の実施によるサービスデリバリーさらには指標への影響の検証、そして一般財政支援の実施における途上国でのボトルネックの検証などを行います。

## 研究領域：

援助戦略

## 研究期間：

2011年4月11日から  
2013年3月31日

## 研究代表者：

古川光明

## JICA研究所所属の研究者：

[三上 了](#)

## 研究成果（出版物）

[Outsourced Technical Cooperation Reconsidered: Agency Problems in the Support of Decentralized Public Service Delivery in Sierra Leone](#)  
[Aid Fragmentation and Effectiveness for Infant and Child Mortality and Primary School Completion](#)

[Is Country-system-based Aid Really Better than Project-based Aid? Evidence from Rural Water Supply Management in Uganda](#)

[Is GBS Still a Preferable Aid Modality?](#)

[General Budget Support in Tanzania, Late Disbursement and Service Delivery](#)

[一般財政支援 \(GBS\) の効果向上のために](#)

ページを共有する

研究所の最新情報をお届けしています。よろしければ、ご登録ください。

メールマガジン

RSS

公式SNS



YouTube



[サイトポリシー](#)

[プライバシーポリシー](#)

[個人情報保護](#)

[情報公開](#)



国際協力機構 研究所  
〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5  
電話番号：03-3269-2911 ファックス：03-3269-2054

公式SNS



YouTube